

## 次号予告

### 特集 高校生のためのOR

#### 施設設置モデル

—社会のための数学の例—

……栗田 治 (慶応義塾大学)

工場の位置と配達区域 ……柳井 浩 (慶応義塾大学)

掛持ち受験と冗長化 ……森 雅夫 (東京工業大学)

ゲームの勝敗を確率する

……高橋幸雄 (東京工業大学)

計画のモデル ……………大山達夫 (埼玉大学)

アルバイトの選択問題

—確実に旅行に行くお金を貯めるためには?—

……枇々木則雄 (慶応義塾大学)

偽金貨を探そう

……松井知己 (東京大学) 松井泰子 (東京都立大学)

交通経路の選択

—個人の都合と全体の都合—

……田口 東 (中央大学)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	逆瀬川浩孝	早稲田大学
副委員長	山上 伸	東京ガス(株)
	山下勝比拉	(株)東芝
委員	伊藤 裕康	(株)富士通研究所
	上野 信行	住友金属工業(株)
	葛山 康典	早稲田大学
	國澤 直樹	東京電力(株)
	栗田 治	慶応義塾大学
	佐賀井重雄	(株)電力中央研究所
	高橋 真吾	東京工業大学
	高橋 敬隆	日本電信電話(株)
	中里 宗敬	青山学院大学
	西尾チヅル	筑波大学
	服部 正太	(株)構造計画研究所
	水野 眞治	統計数理研究所
	矢島 安敏	東京工業大学

**編集後記** ●最近の仕事で興味深かったのは、1989年にMIT産業生産性調査委員会が出した「Made in America」報告のそれ以後のアメリカ産業の状況を探った科学技術と経済の会主催の訪米報告であった。近年、アメリカ製造業の復活がめざましいけれど、これは本物であろうかという問題意識があった。ここ数年間アメリカの輸出は伸びており、製造関係の輸出は、7年間に2倍に伸びているし、それと同時に、世界の市場におけるアメリカ産業のシェアも増加している。これは大幅な円高ドル安のおかげで、本当に実際の改良が行なわれたことに起因するかどうかは不明である。悪いことに、米国人の雇用と賃金の減少を伴っていることからみて、従来の雇用システムにかわるものがでてこなければ、アメリカの状況は決して安心できるものではないという内容であった。アメリカにおいても、じつは本当のところ、社会、経済、産業を含めた広い意味での「テクノロジー・マネジメント」は必ずしもうまくいっていないようである ●1月号で、テクノロジー・マネジメント特集の編

集を担当したが、一言でいうと、何をマネージするかという問題の定式化が不十分であり、管理技法を忠実に実行すればうまくゆくほど簡単ではないというのがテクノロジー・マネジメント実務の実情であろうか。いずれにしても、研究者、技術者が創造性を発揮できるような環境整備が必要なのは明白であろう。さらに、研究開発活動の多角化によって技術知識の内部化をはかり、事業を段階的に拡大していく連続性が日本企業の強靱さの秘密であるようだ。今後は、人間の持つ漠然として欲求を明確な製品概念に翻訳する需要表現力がwhat issueを明確にするうえで重要となろう ●今月号は、95年1月17日に起こった阪神大震災という大惨事に触発された「危機管理と対策」特集である。OR学会誌も時流に敏感で実社会にインパクトのあるテーマ設定ができるという事例のひとつではないでしょうか。そういう観点からいっても、海外への展開のマネジメントやエレクトロニック・コマースなどというテーマも読者にとっておもしろくてためになるのではないかと思う。(伊藤裕康)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

# オペレーションズ・リサーチ

平成8年2月号 第41巻 第2号 通巻422号

代表者 村井 勉

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 逆瀬川 浩孝

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円 (本体922円, 郵送料含) 年間予約購読料10,800円 (税・郵送料含)

### ●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337), 日経弘報社 (3563-2241) へ